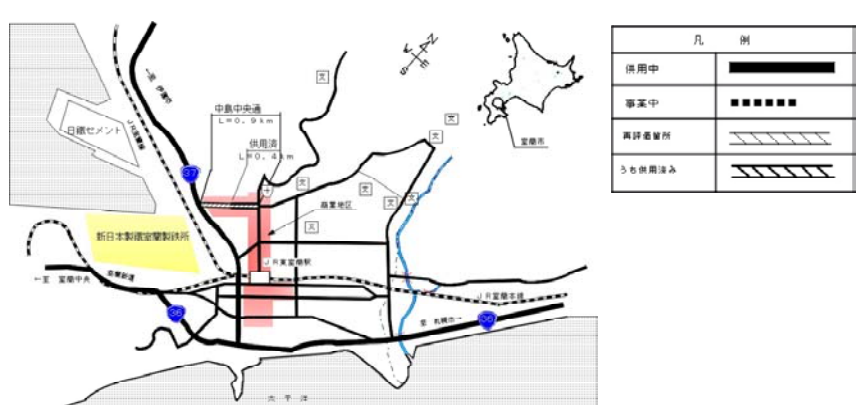


再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：北海道開発局都市住宅課
担当課長名：小町谷 信彦

事業名 <small>なかしまちゅうおうどおり</small> 中島中央通	事業区分 街路	事業主体 北海道	
起終点 自： <small>ほっかいどうむろらんしなかしまちゅう</small> 北海道室蘭市中島町1丁目 至： <small>ほっかいどうむろらんしなかしまちゅう</small> 北海道室蘭市中島町1丁目	延長 0.9 km		
事業概要 中島中央通は、室蘭市の中心的な商業地域である「中島地区」のメインストリートとして、国道37号とJR東室蘭駅を連絡する幹線街路である。当事業は、現道車道部を拡幅整備することにより、交通渋滞の緩和や、事故危険箇所の解消を図る事業である。			
H8年度事業化	H7年度都市計画決定	H9年度用地着手	
H14年度工事着手			
全体事業費 約154億円 事業進捗率 63% 供用済延長 0.4 km 計画交通量 18,000台/日			
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 2.5	総費用 (残事業)/ (事業全体) 53 / 172億円 (事業費：53/171億円) (維持管理費：0/1億円)	総便益 (残事業)/ (事業全体) 134 / 199億円 (走行時間短縮便益：122/188億円) (走行費用減少便益：8/7億円) (交通事故減少便益：4/4億円)	基準年 平成17年
感度分析の結果 交通量変動：B/C=1.3 (交通量+10%) B/C=1.1 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.1 (事業費+10%) B/C=1.2 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.1 (事業期間+20%) B/C=1.3 (事業期間-20%)			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（利便性の向上が期待できるバス路線、特急停車駅へのアクセス向上） ・個性ある地域の形成（中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する） 他5項目に該当			
関係する地方公共団体等の意見 円滑な交通と安全性の確保のほか、中心市街地の特色あるまちづくりに寄与し、地域の活性化に向けて、地元自治体や住民からも事業の早期完成が要望されている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 沿道商店街では、「まちづくり協定」を結び、景観に配慮したまちづくりに取り組んでいるほか、沿道環境の向上に向けた美化活動の実施など住民協働活動にも取り組んでいる。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成15年度までに、1工区370mの供用を図っており、平成16年度から引き続き530m区間の用地取得に着手し、概ね予定通り実施している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 円滑な交通と安全性の確保を図る事業の必要性については、変化はなく、計画通り事業を推進し、平成21年度の事業完成を予定している。			
施設の構造や工法の変更等 舗装工・路盤工への再生合材・骨材の使用によるコストの削減を図っている。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
事業概要図 			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。